

TDU *Agora*



東京電機大学 学園祭 1
東京電機大学ホームカミングデー 3

CONTENTS

TOPICS 4 News 6
キャンパスよもやま情報 5 Information 7



東京電機大学 学園祭

～リアルコンテンツ&オンラインコンテンツで実施～

11月5日(土)・6日(日)の2日間、2022年度の学園祭、「旭祭」(東京千住キャンパス)と「鳩山祭」(埼玉鳩山キャンパス)を開催しました。

今年度は「旭祭」「鳩山祭」共通のテーマとして「Rebuild」を掲げました。最近2年間は、コロナ禍のためオンライン形式や予約者限定など制約がありましたが、今回は3年ぶりにリアルコンテンツを中心としつつ、この2年間に挑戦したオンラインコンテンツ(ライブ配信・オンデマンド配信)なども取り入れ、これまでとはひと味違う学園祭を再構築するという思いを込めた開催となりました。

旭祭は、3年ぶりの模擬店や80を超える学生団体出展及び学科・研究室展示を開催するなど、近隣の家族連れや高校生などで大いに賑わいを見せました。協定校の四工大(芝浦工大、工学院大、東京都市大)にも参加・出展していただいたほか、動物ふれあい広場や科学実験室、屋外ステージでのイベントも復活し、地域の方々や子供たちの多くの笑顔を見ることができました。11月5日(土)はホームカミングデーも同時開催し、多くのOB・OGが来場され、東京神田キャンパス時代の学園祭実行委員会、数年前の旭祭実行委員会の卒業生にもお越しいただきました。

鳩山祭は、3年ぶりの対面開催となりましたが、実行委員会による事前準備や当日の運営をはじめ、人気声優を招いたトークショーやアーティストによるコンサートライブなど滞りなく実施することができました。一般来場者の他、毎年同時期に開催している「日本スリーデーマーチ」の参加者にもお立ち寄りいただき、盛況のうちに終了しました。約6年ぶりとなる打ち上げ花火も事故なく終えることができ、観覧された来場者からは感謝の言葉が多数寄せられました。

多くの方にご来場いただき、学科や研究室、サークル活動、学生生活など、学生との触れ合いを通じて、本学を身近に感じていただく機会となりました。

※「旭祭」「鳩山祭」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、本学独自のガイドラインに基づいて開催しました。



VOCALOID 同好会



ギターアンサンブル部



ダンス部



ふれあい広場



屋外ステージ



学生のお笑いライブ



学生団体ライブ



自動制御研究部



鉄道研究部



模擬店のワッフル



第11回 旭祭一部実行委員会 委員長
工学部 情報通信工学科 3年
草野 恭平さん

一昨年はオンライン開催、去年は展示限定対面+オンラインのハイブリット学園祭としての開催でしたが、今年は3年ぶりに対面での学園祭を開催でき本当に嬉しく思います。去年とは開催形式も規模も異なったため、手探り状態で不安なこともありましたが、それでも、全員が同じ「旭祭の成功」という方向を目指して努力をしたことが、今年の旭祭が成功した要因だと思います。旭祭に携わって頂いた全ての方に感謝を伝えたいです。本当にありがとうございました。



第11回 旭祭二部実行委員会 委員長
工学部第二部 情報通信工学科 3年
篠原 まいさん

久々の対面を主体とした開催で各団体不安はあったかと思いますが、無事終了することができ、ご協力くださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。昨年までのオンライン、ハイブリッド開催の経験をふまえ、3年前までの旭祭に比べてもまた新しい形が創造できたのではないかと思います。旭祭実行委員会の一員として、参加された皆様楽しそうに過ごされている姿を直接拝見することができたことが今回の旭祭での一番の喜びです。



第46回 鳩山祭実行委員会 委員長
理工学部 生命科学系 3年
須賀 友亮さん

今年は3年ぶりとなる対面開催でしたが、両日ともに大きな問題もなく無事に終了することが出来ました。天候にも恵まれ、多くの方々にご来場いただき、楽しんでいただけたことを大変嬉しく思いました。

鳩山祭実行委員会ははじめ、地域の方々、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。今後も、より多くの方々にご来場いただき、楽しんでいただける鳩山祭を開催できるよう鳩山祭実行委員会一同、頑張っていきたいと思います。



サッカー定期戦



ヒューマノイド研究部



ボードゲーム試遊会



ロボット体験



曲づくりサークル



女子栄養大の食育コーナー



打ち上げ花火



漫画研究部



模擬店



野外ステージ



石塚理事長の挨拶



東京電機大学ホームカミングデー

～つないでみよう、あなたとTDU～

今年度のホームカミングデーは「つないでみよう、あなたとTDU」をテーマに、11月5日、東京千住キャンパスとオンラインのハイブリッドで開催しました。今年も、歓迎会と卒業生同士のオンライン交流会に加え、先生・研究室アーカイブプロジェクトやプレゼント企画等、新しい企画も実施しました。

歓迎会では石塚昌昭理事長、射場本忠彦学長、上西栄太郎校友会理事長より、本学を取り巻く環境や校友会の近況等についての挨拶の後、「【特別企画】社会で活躍する卒業生からのメッセージ」では小林晴貴様と高野千尋様の2名の卒業生より、本学での学びが社会に出てからも活かしていることや本学に対する感謝の思い等のメッセージを頂きました。その後、留学生会のミヤツ エンダラ スユエさんと写真部（東京千住キャンパス）の天野孝太郎さんと横川博樹さんより、学生団体について、活動内容の紹介がありました。

歓迎会は最後に校歌を清聴し、終了となりました（YouTube再生回数506回）。歓迎会後に行われたオンライン交流会では、36名の卒業生から参加申込があり、様々な話題で交流を楽しんでいただきました。

ご視聴・ご参加いただきました卒業生の皆様に厚く御礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援の程、お願い申し上げます。



射場本学長



上西校友会理事長



卒業生 小林様



卒業生 高野様



留学生会の発表



写真部の発表



セイザータワーとドウ図書館



富塚先生と(右が筆者)

カリフォルニア大学バークレー校での海外研修

理工学部 機械工学系 山崎 敬則 教授

昨年8月から今年3月まで、本学海外研修員としてアメリカ合衆国のカリフォルニア大学バークレー校に滞在させていただきました。昨年6月に秋学期からの対面授業再開の知らせを受けて事態が急転、ワクチン接種にビザ取得、米銀の口座開設とそれぞれ思うようには進まず、飛行機に乗った時には3週間の滞在先しか決まっていないという綱渡りの状況でした。渡米後、大学入構の手続きと並行して家探しに明け暮れたこの3週間は、全く生きた心地がしませんでした。

受け入れていただいたのは、同校機械工学科の富塚誠義先生です。日本人ではありますが、ちょうど鳩山キャンパスが開設された1977頃にアメリカに渡られ45年、アメリカ生活のほうが長い計算です。富塚先生が提案されたZPETC法と呼ばれる追従制御に関する論文は、現在までに2,000本近く引用され、私はこの富塚法(と呼んでよいと思います)を工作機械の輪郭制御に適用することを検討しました。

バークレーのPhDコースは基本5年で、富塚研にはアジアを中心に20名ほどのPhD学生がいましたが、彼らの優秀さとアメリカに残ると言うハングリー精神には驚かされました。バークレーのPhDを取れば安くとも年俸10万ドルと聞きましたが、彼らの実力を目の当たりにすれば当然と思え、良くも悪くも日本とは別世界になってしまったと感じました。

学外では、リモートですが一般市民向けのアダルトスクールに通ったことがよい経験となりました。特に

ESL (English as a Second Language) クラスは、言葉が通じず仕事も得られないことが移民の犯罪につながるという考えの下に無料(州の予算)で受講でき、アメリカの懐の深さを感じました。参加したクラスの生徒は15名ほどでしたが、他に日本人はなく、南米、ヨーロッパ、アフリカ、アラブとまさに多国籍でした。クラスは先生の裁量が大きく、アメリカの嫌いところは?といった話題では、やはりみな医療(保険)の不安を口にし、また車上荒らしなどの被害にあった人も多く、アメリカの現実も垣間見られたように思います。

年は取りましたけれども、私にとっては夢のカリフォルニアであり、彼の地に滞在できたことはかけがえない経験でした。そして理論を打ち立てた先生に直接学ぶことは、生涯もうないでしょう。改めて関係の皆様、送り出していただいた先生方に感謝申し上げる次第です。



リッチモンド行の渡船からサンフランシスコの街並を眺む

東京千住キャンパス

TDU電子工作教室



11月19日に東京千住キャンパスにて、中学生を対象とした、『来たれ未来のエンジニア！「電磁力」のヒミツに迫る！』を開催しました。この講座では、工学部 電子システム工学科の篠田宏之教授より、電磁力について学び、実際にモーターを組み立てます。

参加者からは、「実験を通してより分かりやすく、楽しく理解することができた」、「理科は苦手だったが、今回の教室で面白いと思うことができた」などの声があり、自分で組み立てて実験をすることで、より理解を深めることができた様子が伺えました。次回と同講座は12月24日に開催予定です。 (研究推進社会連携センター 深澤)

埼玉鳩山キャンパス

災害対策訓練



11月4日に災害対策訓練を実施しました。事務室からキャンパス内に、地震とそれに伴う火災の発生を知らせる放送を行い、教職員同士で連絡を取り合いながら学生を中庭に避難誘導しました。事務室では、担当職員が実際に119番通報の訓練を行い、素早い通報の手順、内容伝達の仕方などを消防組合よりご指導いただきました。

近年はコロナ禍のため、教職員、関係者のみで行っていましたが、今回は学生も参加して約80名で訓練を行うことができました。

(理工学部事務部 藤田)

東京小金井キャンパス 高校文化講演会

高等学校では、11月11日に脳科学者の茂木健一郎先生をお招きし『学ぶ喜びこそが力』という演題でご講演いただきました。

茂木先生の気さくなお人柄やエネルギー溢れる語り口調もあり、開演と同時に会場は熱気に包まれました。話題を変えながらたくさんのお話をいただきましたが、繰り返しおっしゃっていた「自分の置かれた状況を全面的に受け入れること」の大切さや、「全力を尽くすことで脳は喜びを感じる」というメッセージは力強く、記憶に残りました。

学校生活や進路に悩み、自分に自信が持てずにいる高校生が多い中、生徒たちの心に響き、挑戦する勇気が奮い起こされるような貴重な講演会となりました。

(高等学校生活指導部長 積谷)



校友会だより

大学同窓会70周年記念式典

東京電機高等工業学校(のちに電機工業専門学校へ改称)が東京電機大学となつてはじめての卒業式は、1952年3月29日に挙行されました。同日に発足した大学同窓会が2022年に70周年を迎えたことを祝い、記念イベント「日の出寄席」と70周年記念式典を11月19日に開催しました。

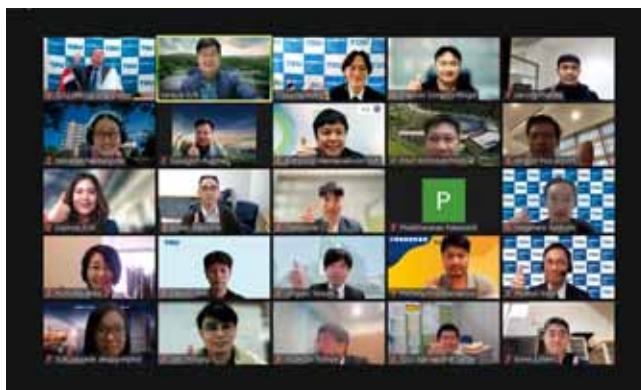
式典では、石塚学園理事長、射場本学長からお祝いのご挨拶をいただき、優れた実績を収めた在学生団体(今年は学園祭実行委員会)の表彰を行いました。70周年記念式典に先立って開催した記念イベント「日の出寄席」では、一般の方にもご来場いただき、多くの皆様楽しんでいただくことができました。



タイ王立シンクロトン光研究所とシンポジウム開催 国際センター

11月4日、理工学部電子工学系の太越康晴准教授が中心となり、Zoomを利用したオンラインにて、タイ王立シンクロトン光研究所と本学の第2回目となるシンポジウムが開催されました。シンポジウムには、射場本学長にご挨拶をいただいたほか、平栗統括副学長、保倉先端科学技術研究科委員長、長原学長室長などが出席されました。

本学からは、太越先生のほか理工学部理学系 石井聡准教授、工学部電気電子工学科 石黒康志助教が研究発表を行い、シンクロトン光研究所からは5名の研究者の成果発表がありました。新型コロナウイルス感染症の影響から、2019年11月30日に実施された第1回目から3年ぶりの開催となった今回のシンポジウムは、のべ54名が集う盛況な会となりました。今後も海外の協定校、研究所などと積極的な研究交流が行われることを期待しております。



一般選抜(前期／前期・英語外部試験利用)・ 大学入学共通テスト利用選抜の出願について ～1月5日よりスタート～

1月5日より、出願データ登録が始まります。本学ホームページのインターネット出願サイトからご登録いただけます(1月5日(木)10時より)。

- 出願は、インターネットでのみ受け付けます。
- データ登録後、出願書類を期日までに郵送いただかないと、受験できません。
- 出願書類の郵送は、簡易書留・速達で必ず行ってください。
- 受験票の取得、合否照会、入学手続き等に関しては、マイページで行います。マイページは、インターネット出願サイトと同じです。



▶インターネット出願



▶入学者選抜要項



偉人の履歴書 vol.3

ロシア、ドイツで幅広い活動を繰り広げた数学者

レオンハルト・オイラー

Leonhard Euler

●1707-1783

「私はあらゆる事柄を

可能なかぎり簡潔に提示した」

- 1707年 スイス・バーゼルで生まれる。バーゼル大学入学後、ベルヌイ教授から数学を教わる。
- 1727年 サンクト・ペテルブルグのアカデミーに赴任。数多くの数学論文を発表する。
- 1734年 27歳でカタリーナ・グゼルと結婚。4年後に右目の視力を失う。
- 1741年 ベテルブルグを離れベルリンアカデミーの一員になる。
- 1766年 ベルリンを去り、ベテルブルグアカデミーに戻る。後に左目も失明し、全盲になる。
- 1783年 76歳で逝去。

東京電機大学編『偉人たちの挑戦1』東京電機大学出版局、2022年、p.29。イラスト:宮島幸次

出版局より、新刊の紹介や話題の本、イベントなどのホットな情報を掲載!

2022年11月の新刊は1点となります。



サイエンス探求シリーズ 偉人たちの挑戦(4) 化学編

東京電機大学 編
A5判・172頁 定価3,080円

科学における偉人の業績と生涯を分野別に紹介するシリーズ。会話調の平易な語りと多数のイラストで興味関心を深められる。

<ピックアップ! 電子書籍>



大学のデジタル変革 —DXによる教育の未来

井上雅裕 編著 角田和巳・長原礼宗・八重樫理人など 著
242頁 定価3,410円

大学教育DXの全体像の俯瞰と先行モデルにおける今後の方向性について調査研究を実施。学習者本位DXのあり方や国内外の動向、大学教育の将来と課題等についてまとめた。



学生のための情報リテラシー Office 2021・Microsoft 365対応

若山芳三郎 著
208頁 定価2,640円

Microsoft Officeを活用して情報リテラシーを身につけるテキスト。実践的な例題を手順に沿って丁寧に解説。課題学習型で実力がつく。



実務に役立つ水処理技術

和田洋六 著
208頁 定価2,970円

水処理に関して基礎から応用技術までを90のテーマにまとめた入門書。1テーマに解説と図表の見開き完結でまとめ、各技術の要点をわかりやすくまとめた。

★出版局ではメールマガジンを配信しております。ご希望の方は、下記URLよりご登録ください!
<https://web.tdupress.jp/mailmagazine/>



編集後記

あっという間に年末となりました。年越しまでは何とかバタバタしがちですが、気持ちよく新年を迎えられるよう、あと一踏ん張りがんばりましょう。2022年も皆様のご協力のおかげでTDU Agoraを発行することができましたこと、感謝申し上げます。どうぞ、良いお年をお迎えください。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



PRINTED WITH SOY INK この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。